

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスmoana			
○保護者評価実施期間	令和8年1月1日		～	令和8年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数)	9人
○従業者評価実施期間	令和8年1月1日		～	令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。こどもは通所を楽しみにしていますか。	モアナでは自己選択をする機会を多く設定しています。未就学児～3年生頃までは、日常生活の中やアロハ、フィール、レクリエーションなど色々な場面で選択をしています。4年～6年生を中心に「子ども企画カリキュラム・お出かけ計画・職場体験・自己理解ノートの作成」などの実施を進めています。「自分はこうしたい」「自分はこうなりたい」という意志形成、意思決定をサポートしています。	未就学児～3年生までの低年齢の子の選択する環境を増やしていきたいと思います。様々な活動を通して引き続き「自己選択、自己決定」の機会を増やしていきたいと思います。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているか。こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	一人ひとりに寄り添い、ニーズに合った支援を提供することができるよう職員で意見交換する場を大切にしています。また、毎日の支援や個別支援計画に基づく支援に活かすために日々の支援の内容や様子も細かく共有しています。個別で認知を深めたり練習を実施し、集団で実践、経験を積むなど環境を設定しています。子ども達からの希望も組み込みながら子ども達のスキル向上に向けて環境設定をしています。	利用者主体で強みを活かした支援を行うために、専門性を高めるための研修や勉強会に参加し、事業所内で積極的に意見交換の場を設けたいと思います。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	モアナでは月1～3回の頻度で地域の児童館さんと交流をしています。地域の子ども達と一緒に、制作や季節の遊びをしたり、児童遊園でにて外遊びを実施しています。また、地域のお祭りやスポーツフェスティバル、大学祭など積極的に参加しています。	来年度も継続して地域交流を実施し、子ども達が楽しいと思えるような経験を増やしていける様計画していきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。父母会、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	モアナ内でペアレントトレーニングは行っておりませんが、地域の療育支援センターと連携し、研修会や勉強会等の情報提供を行っております。必要に応じて参加を促し、保護者支援の機会につなげています。父母会に関しましては、毎年ナチュラルとして保護者会を開催しております。	保護者会は継続していきますので、ご利用者の方にはご参加頂けるよう情報の周知徹底を行います。
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	マニュアルに沿った避難訓練に継続して取り組んでいます。月に一度の訓練なので、利用頻度によっては実施が少ない子もいるかもしれません。	今後も訓練を継続的に行います。訓練内容をカリキュラム表や連絡帳にて転記し、活動内容を報告させていただきます。HPで公開(年)
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもデイサービスmoana

公表日 令和8年3月17日

利用児童数 12人

回収数 9人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1				・基準を満たしたプレイルームとなっておりますが、到着した時、帰りの準備(食事)に関しては、放デイプレイルームで行っております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	9					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	9					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2		2		月1~3回の頻度で地域の児童館さんと交流をしています。地域の子ども達と一緒に、制作や季節の遊びをしたり、児童遊園でにて外遊びを実施しています。また、地域のお祭りやスポーツフェスティバル、大学祭など積極的に参加しています。今後も引き続き活動を計画していきたいと思います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1				地域の児童発達支援センターの専門的知識からの支援に任せています。「定期的集まり、指導する事」が困難なことが大きな理由です。個別の相談が多いことから、今後も個別に対応を行ってまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9					

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7			2		・年に一度、法人として保護者会を開催しております。2事業所合同で行っておりますので、来年度もご参加頂けますと嬉しいです。地域と連携し、保護者の皆様と交流が出来る機会を増やすことも検討しています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9					・いつも楽しいカリキュラムだけではなく社会適応訓練も行っております。苦手なスキルには、個別支援計画の策定と本人とのやり取りから、取り組めるよう促すこともありますので、「いつも楽しい」ばかりではございません。環境に関する配慮はできるだけ行っておりますが、ご要望があればご相談ください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもデイサービスmoana		公表日		2026/3/17	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		人数に応じて、部屋を分けたり場所を確保している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	施設上致し方ない部分もあるが、こちらで配慮できるものには行っている。限られた環境下のできることを行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		困ったとき、迷ったときに話し合うようにしている。スタッフへの周知はみんなで行う		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々のミーティング内で取り組んでいる		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	法人内で実施		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに掲載されている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		作成前・後の2回以上の話し合いがある		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		日々のミーティングを重ね活動内容について話し合いを重ねている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		飽きを感じさせないように、似ている活動でも変化させて実施するように努めている		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		状況や目標に応じて環境設定を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		月に一度話し合いがあり再度職員間で支援の方針を確認している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要に応じて行っている。児童館、地域交流など実施。子供たちが地域で楽しく過ごす経験が accrue するような年間を通して計画している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		児童館へ遊びに行かせて頂いた際にはある児童館交流・地域イベント等。 地域児童館、お祭り、イベント	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	一宮医療療育センターとの連携、研修、勉強会		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		解らない部分は管理者等に話を繋げている		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談内容によっては持ち帰る他の職員と共有後、後日返答することもある	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		年一回保護者会	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		月に一度、どれかの訓練を行い確認している	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		気になることに関してミーティング等で共有	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				